

## 富山大学基金を活用した、コロナ禍での学生支援事業とお礼

コロナ禍による困窮学生支援に対し、富山大学基金への多大なご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。

修学支援基金を活用し本学独自の給付型支援制度を4月に立ち上げ、今年度1,397名に5万円（合計6,985万円）を緊急時奨学一時金として支給いたしました。またJ-Coin基金（公益財団法人パブリックリソース財団）と富山大学基金を活用し、10月以降210名に1万円（合計210万円）の生協書籍、生協売店、食堂で利用できる、生協電子マネーの支援を行いました。

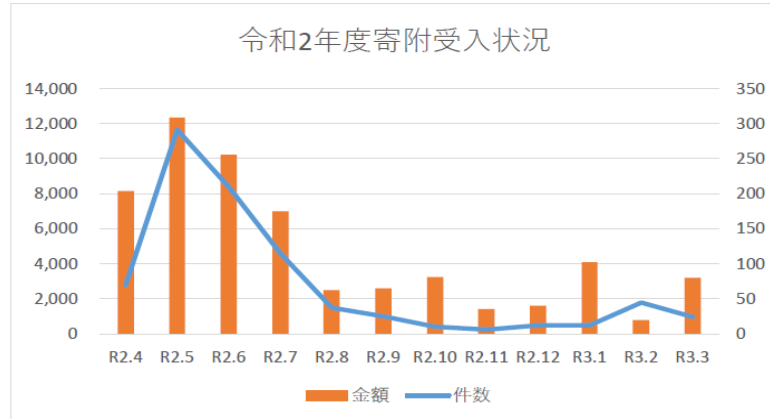
新型コロナウイルス感染症が収束しない現在ではありますが、本学では令和3年度も困窮学生に対する支援を継続するとともに、皆様から引き続き継続的な寄附のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

### 学生からのお礼メッセージ（経済学部2年） ●

今回、新型コロナウイルス感染症による、富山大学独自の緊急的経済支援事業で経済的支援を頂きありがとうございました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で日本のみならず世界全体で深刻な経済的影響を及ぼし、今までの日常生活が大きく変化しました。私は現在一人暮らしで、母子家庭ということもあり実家からの仕送りも少ない中、アルバイトも一時的に中断されました。今後の展望が見えず、生活に不安を抱えていた中、富山大学独自の経済支援により経済的、精神的にもとても救われました。現在では徐々に以前の日常生活に戻りつつあり、今後の学校生活に希望が持てました。多くの方の支援のおかげで学生生活を送れているという意識を持ち、感謝の気持ちをもって勉学に努めようと思います。

## 令和2年度 富山大学基金の寄附受入状況 （令和3年3月末現在）

富山大学基金の寄附受入状況：令和2年度			
基金名	期間	寄附件数	寄付金額
富山大学基金（一般）	R2.4.1～R3.3.31	121	18,525,815
修学支援基金	R2.4.1～R3.3.31	732	37,498,000
研究等支援基金	R2.4.1～R3.3.31	3	1,080,000
合計		856	57,103,815



コロナ禍で経済的困窮した学生を支援しようと、一般、同窓会連合会、名誉教授及び教職員へ寄附依頼を行い、多数のご寄附が寄せられました。しかし、第1波を過ぎた8月以降、月150万円～400万円に減少しております。

令和3年2月より順次、医療従事者、高齢者、一般国民へとワクチン接種が開始され、諸外国との移動も緩和されることと思います。

富山大学では、日本人学生の留学派遣、留学生の受入れが可能となった場合は、学生海外留学支援事業、国際交流支援事業、学習環境整備事業も再開したいと計画しております。改めて、富山大学基金へのご協力をお願い申し上げます。

## 令和3年4月より 富山大学リサイクル募金を開始

富山大学では、リサイクル募金さしやぼんと提携し、令和3年4月より皆様から読み終えた本・DVD・ブランド品等を提供いただき、その査定金額を富山大学基金への学生支援や教育研究支援事業寄附金として受入る事業を開始します。

<http://kishapon.com/u-toyama>



## 富山大学研究等支援基金の新規設立

富山大学では、学生及び不安定な雇用状態にある研究者への研究等の支援に対し、「富山大学研究等支援基金」を新たに令和2年9月に設立し、令和3年1月に文部科学大臣より承認されました。

### 【目的】

○学生又は不安定な雇用状態にある研究者が、自立した研究者として行う研究活動に要する費用を負担する事業  
○学生又は不安定な雇用状態にある研究者が、論文の刊行に要する費用、学会等への参加に要する旅費その他の費用で研究活動の成果を発表するために必要なものを負担する事業 等

※ 研究等支援基金は、修学支援基金と同様に個人の方は所得税法上の優遇措置があり、税額控除または所得控除のどちらか有利な方式を確定申告時に選択することができます。詳しくは基金事務へお問い合わせください。

## 令和2年度 第2回 富山大学基金事業 奨学生帰国報告会 (R3.1.27) を実施

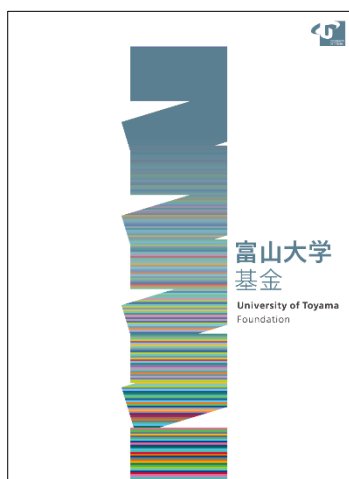
理工学教育部 環境応用化学専攻修士2年 板谷克則

留学機関：イギリス カーディフ大学 留学期間：令和元年9月～令和2年2月



この度は、富山大学基金事業学生海外留学支援プログラムの奨学生としてご支援いただき、誠にありがとうございました。私は最先端の研究施設の下、世界レベルの研究ができ、世界中から集まる様々な学生とクリエイティブかつ革新的なアイデアを生みだしている環境でもとに学ぶことで、今までにはない角度から、物事を見て、一人の研究者として活躍するためにイギリスのカーディフ大学へ6ヶ月間留学しました。留学先では、多種多様な専門知識や異なる価値観をもつ海外の学生が、国境を越えて自身の研究や専門分野を追究していました。私の所属していた研究室では、論文を掲載するために日々研究に取り組んでいる人達や研究留学生が在籍しており、共に実験をする中で、今まで携わったことのない実験手法や研究分野に数多く触れることが出来ました。留学当初は知り合いもなく不安なこともありましたが、研究室の同僚たちが助けてくれました。

また、自然に恵まれたカーディフでは、毎週末ハイキングサークルの仲間と山へ出かけ、現地の学生や様々な国籍の留学生とハイキングを通してお互いの理解を深めました。現地のコミュニティに参加することは価値観だけでなくその土地の環境を感じることができます。私がこれらの交流から得たものは多く、充実した留学生活を送ることが出来ました。ハイキングは帰国した現在も私の趣味として続け、富山大学で所属しているサークルにも積極的に関わっています。この6ヶ月間の研究留学は私の人生でかけがえのない経験になりました。さらに、私のこれからの目標や進路を定めるための原動力となりました。この留学で得たものを今後の人生に活かしていきたいと思います。今は、コロナ禍のため海外に行くことは難しいですが、広い視野を持つことができる海外留学は、学生の今だからこそできる素晴らしいことです。チャンスがあればぜひ取り組んでみてほしいと思います。



富山大学基金のパンフレットが新しく変わりました。

問合せ先：富山大学総務部総務課広報・基金室（基金担当）

〒930-8555 富山市五福 3190

Tel. 076-445-6178 Fax. 076-445-6014

E-mail: kikin@adm.u-toyama.ac.jp

URL: <https://tomidaikikin.adm.u-toyama.ac.jp/>

